



超実践的バイオインフォマティクスセミナー 2023

OUBIC
Bioinformatics Center
Osaka University

日時 : 2024年2月22日 (木) 17:00~18:30

Zoom登録用

場所 : 歯学研究科F棟5階 弓倉記念ホールおよびオンライン



Zoom URL [https://zoom.us/meeting/register/tJclf-qopj8sGNb0vI-c2Qb7VSc44AomdoN-](https://zoom.us/join/https://zoom.us/meeting/register/tJclf-qopj8sGNb0vI-c2Qb7VSc44AomdoN-)

講師 : 東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系
小林 和弘 先生

演題 : Gタンパク質共役型受容体を標的とした、実験的構造決定手法と構造予測の現在地

概要 : 生物はその生存において多くのタンパク質を用いており、これらのタンパク質は適切な形に折り畳まれることで初めて機能を獲得する。近年、クライオ電子顕微鏡構造解析手法の急速な発展により多数の実験的立体構造が明らかになり、Alpha Fold2を代表とした構造予測技術の目覚ましい発展により実験的に得られていない立体構造の予測さえも可能となった。しかし、これらの構造は必ずしも正しいものではなく「タンパク質の立体構造の質を正しく判断する目」により実験的および予測構造の精度を判断する必要がある。本セミナーにおいてはGタンパク質共役型受容体を中心に、実験的構造生物学手法の現在地と構造予測の応用例を紹介する。

主催 : 大阪大学 大学院歯学研究科・大阪大学バイオインフォマティクスセンター・「口の難病」プロジェクト

問い合わせ先 : 歯学研究科 庶務係 si-soumu-syomu@office.osaka-u.ac.jp

* 本講演は、「口の難病セミナー」および歯学研究科の大学院特別講義を兼ねています。ただし、Zoomでの受講は単位認定となりません。